

100問100答

アクアグループで働くスタッフに一斉アンケート！

入社理由やアクアグループの魅力など総回答数は100件越え！
現場のリアルな声を集めました。

● ● ● アクアグループについて ● ● ●

Q.1 アクアグループに入社した理由は？

Answer

病院では皆さま退院を目標として検査や治療を受けて頑張っており、患者様と接する中で、「退院後はどう生活し、どう過ごしていくのだろうか？」と思ったことがきっかけです。
自宅での生活に戻ることが困難で、施設へ入居される患者様も多く見てきました。施設に入居した後、これからの人生をどう過ごしていくのか。看護師としての関りがすごく大事になってくるのではないかと感じました。ご利用者様が常に笑顔で安心・安全・安楽に日々を過ごせるサポートを行いたいという強い思いから、アクアグループへ入社を決めました。

Answer

病院で看護師として働いている時は、日々の業務をこなすことで精一杯でした。「もっと患者様としっかりと向き合いたい」という思いから転職を決意。アクアグループなら看護師としてスキルアップしながらご利用者様と関われると思い入社を決めました。

Answer

今まで地域包括ケア病院で勤めてきました。退院期限が決まっている中で、患者様、ご家族様に経管栄養や吸引といった指導を行ってきましたが、退院し在宅や施設に帰られた患者様がどのような生活をしているのか、困っていることはないかなど考えることが多かった中、医療対応型のアクアホームを見つけました。アクアホームなら今まで私が行ってきたケアを見直し、更に質の高い、良いケアを提供できる。そして看護師へレベルアップ出来ると思いアクアホームに入社しました。

Answer

子供の頃より人に喜んでもらうことが好きで、多くの人と関わることができる仕事を希望していました。アクアグループでは福祉医療の分野を通じて、課題を抱えたご利用者様やご家族様のため、看護師・介護士・医師・ケアマネージャー・セラピストなど様々な人たちが協力してサポートを行っています。私もその架け橋になれるような仕事がしたいと思い、入社を決めました。

Q.2 アクアグループへ入社し学んだことは？

Answer

看護師だけの関りにとどまらず、介護士・医師・薬剤師・ケアマネージャー・外部サービスの方など、多職種の方と連携しながら、ご利用者様やご家族様の思いにより添い関わる。それによって良い看護を提供することにつながるということを、改めて学ぶことができました。
また、ご利用者様とご家族の気持ちを100%理解することは困難だとしても、理解しようとする気持ちを持って、寄り添うことがどんなに大事か、ご利用者様・ご家族様にとってそれが大きな力になるということを学ぶことができました。

Q.3

転職のきっかけと、アクアホームに入職してどう変わったかを教えてください。

Answer

僕は元々大きな総合病院で働いていました。そこで働いてる間僕が一番ストレスに感じていたのは、その時間外労働の多さです。始業 1 時間前の出勤と終業後の残業。休日に委員会の仕事と勉強会の資料作り… 時間外労働はもはや常態化している状況でした。

自分の人生を削られている様な感覚に陥った僕は転職を決意し、友人の紹介で現在の職場となるアクアホームへ就職する事となりました。これから書くことを嘘だと思う人も中にはいるかも知れませんが、しかし折角この様な機会をいただけたので簡潔に、事実だけを述べさせていただきます。始業の 5 分前に出勤、終業と同時に退勤。委員会の仕事は例えあっても勤務時間内に終わる。休日出勤なし。年齢層は様々だが慣れてしまえばみんなすることは一緒なので、先輩後輩など面倒な上下関係一切なし。休日は仕事の事を全て忘れ、趣味の釣りと子育てに奮闘中。給料がかなり増えた。これを読んでいる方に、少しでもアクアホームがどんな所か伝わればいいと思います。現場からは以上です。

Answer

病院で働いていたときは日々の業務、時間に追われてしまい、患者様とお話をしたり関わる時間をほとんど持つことが出来ませんでした。業務が多忙でナースコールで患者様に呼ばれてお部屋に訪室するが、患者様に「また後で来ますね、次に伺います」と言葉だけお伝えし、その後すぐに対応することが出来ない、約束を守れない日々でした。患者様との時間をほとんど作れず、毎日『なぜ僕は看護師になったんだろう？』『看護師としての僕の求めているものは？』『看護師になりたいって強く思っていたあの頃は？』など考えてしまう場面が日々の業務中に多々ありました。そんな悩みを抱えていたとき、アクアホームに出逢いました。アクアホームでは、利用者様との時間をたくさん作ることができ、関わりを多く持つことで、毎日が幸せです。

ご家族様からも「安心してお願い出来ます」とのお言葉をいただけたり、看護師になって本当に良かったと悩みを忘れてくれた職場です。アクアホームは、職員が笑顔で明るく働ける、利用者様にも笑顔が伝わり、その利用者様の笑顔を見てご家族様も笑顔になれる僕の大好きな職場です。

Q.4

アクアグループの魅力を教えてください。

Answer

今まで看護師として経験できなかったことをたくさん経験できているのが、すごく楽しくてやりがいを感じています。他施設に行くと多くのスタッフと関わり、話をすることで、さらに看護師として広い視野を持つことができたと思います。

知識や学びが増え、自分自身が成長しているというのを実感することができています。

Answer

やる気さえあればどんなことにもチャレンジさせてもらえるところです。やる気を認めてもらえ、専門職以外の分野も学べ、働いているいろいろな視野が広がり成長出来ます。

介護職でも営業の仕事にチャレンジでき、外部の方とのやり取りから、話術や接客術なども学べます。なかなかチャレンジを認めてくれる会社ばかりではない中、やる気さえあればなんでも実現出来る会社。魅力がたくさんある会社。それがアクアグループです！

Answer

利用者様やご家族様の笑顔の為に、社員一丸となって前進していける団結力と、アットホームな雰囲気。そして、社員一人一人の熱意と行動を尊重し、チャレンジと活躍の場を与えてもらえるところです。一生懸命頑張ったのに認めてもらえない。自分の仕事にやりがいを感じられない。アクアグループではそんな思いは絶対にありません！

利用者様の医療や介護のケアを行う施設業務や、施設の管理業務、営業職など、色んな働き方ができるアクアグループだからこそ、絶対にあなたの輝ける場所があります！

そんな職場で一緒に働いてみませんか。

Answer

本人の頑張りをしっかりと評価してくれる所です。私自身、他の病院や施設では、年功序列や上下関係で、いくら頑張っても成果に繋がらないという経験がありました。しかしアクアグループは、個人個人の頑張りをしっかりと見て、努力を評価してくれる場所です。年齢が若くても、経験が浅くても、頑張り次第で、その人に見合った仕事、その人の適正をみた役割を与えてくれます。自分の努力次第で得られるものが多くあり、やりがいがある、それがアクアグループです！

Answer

現場業務だけでなく、入居調整や施設管理、営業等の分野にもチャレンジできる事です。病院では現場業務がほとんどでしたが、アクアホームに入職してからは様々な分野の経験ができます。そのため、看護師・介護士としてのスキルアップだけでなく、人として成長させてくれる会社だと思っています。また、一般の病院やクリニックと比べて男性スタッフの割合が多いです。気さくで話しやすく、カッコいい方が多いので、イケメンスタッフが必ずこの施設にもいるというのもアクアホームの魅力だと思います！

Answer

様々なことに挑戦させてもらえる点です。

年齢や経験年数に関係なく個人のやる気や頑張りなどが評価され、管理者や営業職など様々な分野の活躍の機会を得ることができます。また資格取得などのサポートなども充実しており、キャリアアップを目指すスタッフも数多く在籍しています。

Q.5 アクアグループならではの強みは？

Answer

それぞれの利用者様、ご家族様らしい生活を最大限に支えていくことができるという部分です。様々な経験のあるスタッフと共に、自由で新しい発想の中から多くのことを発見し、実践できる環境がアクアグループにはあります。たくさんの意見や想いに触れることで、自分自身の学びや成長にも繋がります。最高の環境・仲間と、新しい自分を、そして新しい看護の在り方を一緒に探しましょう。

Q.6 アクアホームに入ってよかったと思う瞬間は？

Answer

最高の環境、最高の職員、これについては言わずもがなではありますので、強いて言うのであれば、輸入車に乗りながら、エナジードリンクを飲んでいる瞬間です。ミラーの反射で誰が乗っているのかわからないというリスクを避けるためにあえて窓は全開にしています。

Answer

利用者様の目線で物事を考えられるようになったことです。病院勤務では本人の意思と関係なく、必要な医療だと押し付ける形で仕事をしてきましたが、アクアグループでは利用者様や家族様の想いを傾聴した上で対応しています。毎日晩酌を楽しまれる利用者様もいらっしゃいます。認知症、転倒リスクが高い=抑制と結びつけるのではなく、訪室頻度を増やしたり家族様にもリスクを納得してもらった上で、利用者様に極力制限をかけないように関われるようになったことが良かったと思います。

Answer

アクアホームにいるスタッフは利用者様のことを第一に考えて、看護師・介護士と一緒にってどのようにケアをしていけばより良いか話し合いを行い、それを実行できていることです。施設に面会に来られた入居者様のご家族にも、それが伝わりスタッフとの信頼関係ができています。病院での治療が必要になり入院する為に、一時的にアクアホームを退去される利用者様のご家族よりこんなことをお話していただきました。「治療が終わって退院できたら、もう1度この施設に入居したいです。お部屋の空きが無くなった場合は、他の施設でここが空くまで待ちますのでお願いします。」と言われた時は、入居の契約時から真面目に利用者様・ご家族様に関わらせていただき、本当に良かったなと感じました。これは本当にアクアホームのスタッフ皆が同じ意識を持ち、日々の業務をできているからこそものだと思います。

Q.7 アクアグループのここが好き！と思うところは？

Answer

レクリエーションの自由度が高いところになります。とにかく人を喜ばしたり、企画することが好きな人は是非一緒にお仕事したいです！「思い立ったが吉日」で企画から実行がとにかく早い！ある利用者様がスタッフのネイルに興味を持たれたら即行動。数日後には施設の半分以上の利用者様（男性含む）が綺麗なピカピカの爪になってます。今まで無理だろうなど諦めていたことがここでは可能です。自分の企画が利用者様の笑顔に繋がった時は最高の気分だと思います！

Q.8 アクアグループを一言で言うとどんな会社ですか？

Answer

職員ひとりひとりの頑張りを認めてくれる会社です。私は介護職として入社し、利用者様が気持ちよく生活できるよう迅速、丁寧な対応に努めてまいりました。その姿勢を評価してくださり今では管理職を任せただけになりました。

Q.9 アクアホームはどのような方が入所されていますか？

Answer

アクアホームはご自宅に帰りたい願望が強い方も多く入居されております。そのような方へ何ができるか、どうしたらその人らしく生活ができるか、私達は日々考えています。アクアホームは食事レクリエーションが多いことも魅力の1つです。季節ごとのグルメはもちろん、目の前で寿司職人にお寿司を握っていただくなど大規模なイベントも行います。普段食量量の少ない利用者様が美味しいと笑顔で完食してくださった時は、本当に嬉しく、私達職員も笑顔になります。利用者様には最期までその人らしく生活してほしい。職員全員がそのような想いをもち、利用者様への援助を行っております。

Q.10 利用者目線に立ったときに、
アクアホームの魅力は何ですか？

Answer

アットホームな環境と、病院と変わらない人員配置の多さ、医療処置に対応出来ることへの安心感が高いところだと思います。在宅への退院は利用者様本人にとって安心できる場所ではありますが、ご家族様にとっては様々な不安があると思います。アクアホームでは在宅のような安心感を持ってもらえるよう面会できる環境を整えています。更に医療行為全般に対応できる施設の為、ご家族様にとっても安心できる施設であることが一番の魅力です。

Q.11 利用者様の人権尊重に向けた取り組みは
どのように行われていますか。

Answer

入居時や状態変化が予測された際などに、改めてご本人様やご家族様のご意向を確認し、スタッフに周知してもらいます。また、新規スタッフのオリエンテーションでは、在宅ということを念頭に置いて、ここが治療の場ではなく生活の場だということを認識できるように働きかけを行っています。ご入居される方は、持ち物や生活リズムの制限もなく安心して過ごしていただけます。

Q.12 イノベーションや改善提案を導入する
風土はありますか？

Answer

スタッフからの意見や提案を歓迎し、常にサービスの向上に取り組んでいます。これまでの訪問記録や請求業務システムをよりコストパフォーマンスが高いものに変更したり、スタッフや面会者が車で来られる際にストレスなく駐車できるような提案をしたり、施設内に「これがあつたらいいな」という物品に至るまで、スタッフからの提案が数多く見られます。人を大切にする理念の基、人の意見も大事にしています。

Q.13 緊急時の対応についての
訓練は行われていますか

Answer

定期的な緊急対応の訓練を行っています。入居者様の緊急時においては各施設にマニュアルが掲示されています。災害訓練についても、消防署から職員を派遣していただき、避難から誘導、実際に避難用シューターを用いて訓練を行うこともあります。

Q.14 環境について
何か取り組んでいることはありますか？

Answer

すべての施設に電解水生成装置があり、日々の洗濯や掃除などに使用しています。企業にとって環境に配慮した事業活動は重要課題のひとつであり、電解水は界面活性剤を含まない洗浄水としてSDGsに向けても注目されているそうです。また、感染対策においても酸性電解水（次亜塩素酸水）を使用しています。

Q.15 あなたにとってアクアホームとは？

Answer

家族です。私にとって家族とはチームです。一人ひとりそれぞれの役割があり、助け合って役割を果たしてこそ安らげる場所となると思っています。大切にするのは利用者様、利用者様家族、アクアホームで働く全てのスタッフです。安心して暮らせることを一番に考え、スタッフでも同じ目標に向かい、日々役割分担しながら思考錯誤しています。家族には深い絆が存在するように、アクアホームでも利用者様、利用者様家族との間に、またスタッフとの間になど様々な絆が存在しています。そんな絆を大切に、誰もが安らげる空間をこれからもつくっていきたいと思います。

Q.16 アクアホームで働く魅力を
ひと言で表現してください。

Answer

個々の笑顔を支えるやりがい、ここでしか得られない成長と感動

Q.1 あなたの仕事を教えてください。

Answer

バイタルチェック、点滴等医療処置、経管栄養、オムツ交換、食事介助などのケアを行っています。初めて見る在宅用医療機器などもありましたが、先輩看護師が優しく教えてくださり、安心して仕事をすることができています。業務に追われることはなく、定時に帰宅することができるため、プライベートの予定が立てやすいのも魅力の一つです！

Answer

当初、アクアグループには看護スタッフとして採用され、利用者様の看護や生活のお手伝いをしていました。現在のご自宅での生活が困難な方や、退院後の生活の場をお探しの方などを、施設へご案内する仕事をしています。お客様とのヒアリングを通して、どのような生活を送りたいかなどのニーズに合ったサービスを提供できるよう心掛けています。これまで経験してこなかった営業という仕事に当初は戸惑いも感じましたが、多くのお客様から「アクアホームに入ってよかった」というお声をいただき、いまでは大きなやりがいになっています。

Answer

大きく分けると、ご入居前後の調整・事務作業・後進の育成を担っています。ご入居前後の調整では、ご家族様や病院の相談員さん、ケアマネージャーさんなどと話し合いをしながら、ご入居者様が安全で満足できる環境の手配をさせていただきます。事務作業としては、保険情報や請求業務、行政とのやり取りに携わり、後進の育成としては、先に挙げた業務や現場の管理業務を他の管理者に説明・指導しています。

Answer

利用者様の日々の状態観察、バイタルサイン測定、内服管理、状況に合わせた食事介助などを行っています。利用者様、ご家族様とコミュニケーションを図り、安心感を与えられるようにするのが私たちの仕事だと思っています。

Answer

入社して1年ほどは、現場スタッフとして県内・県外のアクアホームの施設で働き経験を積み、今では1つの施設の看護管理者をさせていただいています。病棟勤務の看護師では経験することができない、往診医・薬局・ケアマネ・入居者様のご家族の方とのやりとりや調整を通して、自分が看護師としても社会人としても成長できていることが、仕事のやりがいにもなっています。

Q.2 仕事をする上で大切にしていることは？

Answer

入居される方は年齢も様々で、お若い方からご高齢の方まで幅広くご入居されます。その方達がおのりらしく生活できるよう、どれだけ細かいところに気付け、寄り添えるかを大切にしています。その中でも一番大切にしていることは、笑顔がある生活を送ってもらうことです。笑顔がない生活はつまらない。だからこそ笑顔になれるように寄り添います。アクアホームならそれが実現できる現場環境なのです。

Answer

相手の気持ちを考えて行動することです。入居される方も働いているスタッフも、年齢や性別、性格や過去の背景も様々です。なかには重い疾患を持っている方もいます。その方がその時何を伝えたいのか、何をしたいのかを常に考えることで、また違った視点で物事を捉える事が出来るようになると思います。相手が今一番望んでいる言動や行動が取れるよう、思いやる気持ちを忘れずに、スタッフからも入居している方からも、話しやすく頼られる人になりたいと思っています。

Answer

利用者様の日々の状態観察、バイタルサイン測定、内服管理、状況に合わせた食事介助などを行っています。利用者様、ご家族様とコミュニケーションを図り、安心感を与えられるようにするのが私たちの仕事だと思っています。入社して1年ほどは、現場スタッフとして県内・県外のアクアホームの施設で働き経験を積み、今では1つの施設の看護管理者をさせていただいています。病棟勤務の看護師では経験することができない、往診医・薬局・ケアマネ・入居者様のご家族の方とのやりとりや調整を通して、自分が看護師としても社会人としても成長できていることが、仕事のやりがいにもなっています。

Answer

施設に入居するということは、ご本人様とご家族様が一緒にいる時間を預かることになります。そこで施設入居にあたり、必要に応じて自宅や病院を訪問の上、ご本人様やご家族様がどのような生活を望むのかを傾聴し、それを実現できるよう職員一丸となり受け入れる準備を整えることが重要です。中には入居拒否が強く、嫌々入居する利用者様がいることも事実です。しかし施設で出来ることに限りはないので、食べたいものがあるのならレクリエーションを介して会社に相談したり、たばこやお酒なども職員見守りのもと希望に沿うことも可能です。最終的に利用者様、ご家族様から「ここよかった」と思ってもらえるような施設づくりを大切にしています。

Q.3

仕事をする上で、
あなたの大事にしている思いや物がありますか？

Answer

私の大事にしている物は、『クロスボールペン』です。以前勤めていた会社の先輩にいただいたボールペンです。歴史のあるボールペンという事をそこで知りましたが、その先輩が「文字と文字を書く道具は、相手が見ているから、丁寧に書き、丁寧に扱って」と言われた事を今でも鮮明に覚えています。仕事柄、ご家族様やドクター、ケアマネジャーといった多くの方々にことづけなどの文章を書く事が多いため、下手なりに丁寧にも丁寧に伝わる様にと思いながら書かせていただいています。自分にとっては、替えの利かない大切なボールペンです。今後も『丁寧に相手に伝える』を忘れずに、ご家族様の大切な人に思いを伝えられるよう、業務に取り組んでいきたいと思っています。

Q.4

やりがいを感じる時は？

Answer

病院で働いている時よりも利用者様1人ひとりと関わることができ、笑顔が多く見れることです。経管栄養をしている利用者様から「アイスが食べたい」という訴えがあり、ご家族様・主治医と相談した上でアイスを数口食べて幸せそうな笑顔が見れました。

Answer

アクアホームには末期癌や神経難病の方が多く入居されており、看護師として最期の場面に立ち会わせていただく事があります。疾患の進行によって食事がとれなくなったり、会話が困難になっていく利用者様もいらっしゃいます。そういった方に対して何ができるのか、残された時間を少しでも充実させるにはどうしたらよいか。ご家族様含め多職種で情報共有しながら考え、関わっていく事は難しくもありますが、同時に大きなやりがいを感じます。コロナ禍の影響によって、面会制限を敷いている病院や施設がまだまだ多い中、大切な人同士のつながりを絶やさぬよう、自由に会える環境を整えているアクアホームだからこそできる事なのだと感じています。

Answer

これまでの自分には、総合病院の急性期に関わる部署のみしか経験が無く、神経難病や末期癌のお看取りが多いこの施設への転職には、今まで培ってきた経験を捨てて、また別の新しい職種に就く程の決意が必要だと思っていました。しかし、実際はそうではなかったのです。急性期で働いてきたからこそ、自分の大切な身内に突然病気が見つかり、半ば気持ちが追いついてこないまま治療の選択を迫られる。そしてなるようにしかならなかった結果に、「これで良かったんだろうか」「どうしてこうなったんだろうか」と、やり場のない気持ちを持ったまま退院となる利用者様や、そのご家族様の気持ちが容易にイメージできます。

急性期の施設では置き去りにされていた、利用者様やご家族様の思いに寄り添い、時間をかけて向き合っていけるこの充実感は、他にはないものだと思います。医療対応型ということもあり、病院から介護施設等への転職者には日常茶飯事となる、歯痒さもほとんど感じることなく働いています。様々な経験を活かすことの出来るとても良い職場です。

Answer

ご利用者様の中には、病気が理由で身体の動作が大変になられる方もいらっしゃいます。そういった方に対して日常的に離床を促したり、どうやったら楽しく食事を召し上がっていただけるかと、日々思考錯誤しております。その中でご利用者様やご家族様から嬉しいお言葉をたくさんいただく機会があり、今後もその方らしい生活をしていただけるよう、工夫していくことにやりがいを感じております。

Answer

10年以上勤務してきて、今が一番看護師としてやりがいを感じています。今まで経験できなかった営業や、新しい施設の立ち上げなどに関わらせていただきました。また利用者様、ご家族様からの感謝の言葉をいただけることも多く、利用者様にとってより身近な存在になれた気がします！

Answer

ご高齢の方の生活を支援し、快適な環境提供に貢献できることです。ご本人様やそのご家族様に対して適切な施設を提案し、ニーズや希望に合った選択肢を提供することで、新しいチャプターを始める手助けをすることに、やりがいを感じています。ご家族様やソーシャルワーカー、ケアマネジャーと連携を取りながら、ご利用者様の新たな生活の架け橋となって支援を行えることも、やりがいとなっています。

Q.5

アクアホームへ入社し、成長したと感じた事はありましたか？

Answer

元々は総合病院の看護師として勤務していました。アクアホームへ入社し、ケアマネージャーさんなど外部の方とのやり取りや、事務作業等、今まで縁の無かった業務に携わってきた事により、病院時代では想像できなかったほど知見が広がりました。その結果、物事をより広い視野で考えられるようになったと実感しており、人としても大きく成長できていると感じています。

Answer

利用者様が自宅に帰ってきたかのようなアットホームな雰囲気で、ストレスなく生活を送れるよう、職員一同心掛けています。利用者様やご家族様からも「アクアホームに入って良かった」など有難いお言葉をいただき、より仕事へのモチベーションも上がっています。

Answer

コミュニケーション能力です。コミュニケーションと一言で言うと簡単に聞こえますが、利用者様、ご家族様への対応や、医師、薬剤師、ケアマネージャー、現場スタッフとの連携、電話対応、来客対応など全てコミュニケーション一つで相手方の受け取り方は異なり、仕事の質は大きく変わると思います。初めは電話対応一つ満足にできず、不安を強く感じたのを鮮明に覚えています。ですが、先輩達にサポートいただき、ここまで仕事を続けて来られたと思います。今後も、素直に慢心することなく仕事をしていきたいです。

Q.6

入社してから嬉しかったエピソードを聞かせてください。

Answer

病院勤務からアクアグループへ転職しました。妻には病院をやめることを反対されましたが、今後拡大する在宅医療の分野であると説明をし、話し合いを重ねると背中を押してくれました。入社して施設管理に携わるようになり、病院勤務では経験出来なかった外部機関とのやりとりや、マネジメント業務など幅広い仕事を任せていただくようになりました。自身で勉強したり周囲のフォローを受けたりしながら、出来ることが増えるたびに達成感も大きく、やりがいや成長、感謝を日々感じています。妻からは「病院で働いている時より楽しそうに仕事の話をするようになったね。」と言われました。楽しいと口にせずとも伝わっていたことが何より嬉しかったです。

Q.7

不安なことや心配事はありましたか？

Answer

入社当時は、医療処置やご利用者様との関わり方についての不安が大きかったです。しかし、温かい職場環境で、皆さん親切に教えてくださるのでとても助かりました。夜勤も看護師複数人で勤務するので、困ったことがあればいつでも相談できる環境です。医療行為も多いので、不安だった手技も今では自信を持って行えています。

Answer

呼吸器の扱いなど不安がありましたが、面接で不安に思うことなどを聞いてくださり、きちんとスタッフに共有したうえでフォローしてもらえたことで、不安は解消されていきました。以前勤務していた病院と違い、常に忙しいと言うわけではなく、利用者様のお話をしっかり聞く時間があるので、ニーズに沿ったケアができます。また施設では経験を積まれた先生たちが診察に来られ、一緒に往診につかせていただくことで、じっくり先生と話す機会が増えました。経験に基づく考え方やエピソードなどを真剣に、時に面白く聞かせていただいています。

アクアグループに入職後は、知識を底上げできただけでなく、人との関わり方について学ぶことができ、医療従事者としての成長を感じることができています。

Q.8 専門的な医療行為が多くて大変そう…

Answer

確かに専門的な医療行為を求められる場面は多いと思います。私も入職時、人工呼吸器、経管栄養、麻薬など馴染みのない医療行為に不安を感じていました。しかし、そういった医療行為に慣れているスタッフも多く、一つずつ丁寧に教えてくれるので、今では人工呼吸器の取り扱いは自信を持って出来るようになりました！今まで経験できなかった医療行為を覚えていけることにやりがい、喜びを得られる施設だと思います！

Q.9 アクアグループに入るには高い知識や経験は必要ですか？

Answer

医療依存度の高い利用者様もいらっしゃいますが、様々な経験や知識豊富なスタッフが皆様のサポートに入ります。私自身、今まで馴染みのなかった医療行為に触れる場面もありますが、往診の医師や職員と一緒に学びながら、安全な看護の提供が行えています。基本的な知識があれば、職員同士補い合い、助け合いながら安心して働いていける環境だと思っています。

Q.10 学生時代の経験は、今の仕事にどのように活かしていますか？

Answer

私は学生時代、野球部でした。団体競技だったので、個では出来ないことでも、チームみんなで一つの目標にひたむきに取り組み、勝つ喜びや負ける悔しさを学びました。アクアホームでは『勝つ』ということではないですが、看護も介護も関係なく、一人一人の入居者様に対してチームとして向き合います。『多角的に物事を考え、様々な意見を出し合い、入居者様の笑顔、一瞬一瞬の煌めきを引き出す』そんな所に勝つ以上の喜びを感じています。また入居者様、その入居者様を大切にしているご家族様の「ありがとう」を多く聞ける、そんな場所にしていけるようみんなで頑張っていきたいと思っています。

Q.11 利用者様とのコミュニケーションについて教えてください。

Answer

さまざまな疾患を持つ方がおられ、言葉での意思疎通が困難なこともあります。例えば、入職3年目に入ってすぐの頃、徐々に発語できなくなる疾患の方と関わらせていただいたことがあります。意思伝達装置の導入から操作の習得まで、毎日の積み重ねを一緒に行うことで、言葉だけのコミュニケーションでは得られない信頼関係を築く重要性に気付くことができました。相手を思い寄り添う気持ちの大切さは、どのような場面でも必ずプラスの方向へと導いてくれるような気がします。

Q.12 どのようにして利用者様のニーズに応えていますか？

Answer

これまでいたところでは、「人手が足りない」「時間がない」など、できない言い訳が多く聞かれ、利用者様のニーズに応えることが不十分であったと思います。しかし、アクアグループではひとつの方法として、清掃業務のアウトソーシングや業務の効率化を図るための対策が、日々更新されています。これらは利用者様だけでなく、業務のマンネリ化を防ぐとともに、これまで「時間がない」「自信がない」などといったマイナスなスタッフの意識も変えてくれました。その結果、人工呼吸器を装着した方と自宅へ外出し、誕生日のイベントに参加するという、今までは想像もできなかった企画が実現できたことが、今でも思い出に残っています。スタッフや関係者と入念に打ち合わせを行って達成できたのですが、不可能はないと思わせていただいた出来事でした。

Q.13 ストレスの多い状況でも前向きに取り組むための工夫はありますか？

Answer

たしかに難病を抱えた方が多く、「自分の力不足はないだろうか」「なぜもっと上手くできないのか」などと不安やストレスを抱えそうなことはあります。しかし、周りに専門的なスタッフが多くいることや、相談窓口もあるため、自分だけで抱え込まず周りに助けをもらうことも多いです。チームとして働いていることを忘れず、みんなの力でサービスや働きやすさの向上に繋げることが大切です。1人の力よりも10人の力の大きさを心がけています。

Q.1 アクアホームの職場環境はどのような感じですか？

Answer

アクアホームではコミュニケーションをととても大切にしております。幅広い年齢層のスタッフが在籍しているため、技術を学ぶことができ活気がある環境になっています。協力して業務に取り組むことが利用者様の安全安楽な生活に繋がると考えているため、円滑に業務に取り組めるように日々の連携を大切にしております。

Q.2 働きやすさを感じる場所は？

Answer

同じエリアや近くの施設の管理者とは、いつでも困った時に相談し合える間柄です。真面目で気さくな方が多く、また年齢も近く相談しやすいので助かっています。こうした横の繋がりだけでなく、先輩や上司への縦の情報伝達もスムーズで返答も早く、何事にも素早い対応が出来ることも働きやすさのひとつだと感じています。

Q.3 アクアグループの忙しさはどうですか？

Answer

病院勤務の時と比べ、利用者様と会話できる時間が増えました。病院勤務のときは患者様に呼ばれても「ちょっと待って」「また後できます」と対応を後回しにしてしまって業務に追われていました。アクアグループに入職してからは、時間に追われず、業務の中で利用者様と散歩するなどゆっくりした時間をとることができています。仕事のオンオフの切り替えがしやすいので、プライベートも充実しています。

Q.4 コミュニケーションや説明が苦手なのですが大丈夫ですか？

Answer

大丈夫です！アクアホームには、頼りになる先輩スタッフがたくさんいます。コミュニケーションや説明が苦手でも自信がなくても先輩達が一つ一つ丁寧にフォローしてくれます。先輩方は、優しく同じ目線の高さで話をしてくれます。初めての事は誰でも不安と心配でドキドキしてしまうと思います。僕もその一人でした。最初は上手に『相手に伝える』ことが出来なかったり、返答に困ってしまう場面がありました。そんな時、「ゆっくりで大丈夫、焦らずに一つずつ覚えていきましょう。困っていることがあればサポートするので大丈夫ですよ！」と優しく声をかけていただきました。あの時の嬉しかった気持ちは今でも覚えています。アクアホームは、スタッフを親身にサポートしてくれると同時に、働いていて楽しい気持ちにさせてくれるスタッフで溢れています。

Q.5 どのようなバックグラウンドを持つスタッフが活躍していますか？

Answer

看護師や介護士だけでなく、経営者、自衛官、飲食業、販売業、コンシェルジュ、栄養士、営業職など、バックグラウンドに専門的な知識を持ったスタッフが数多く在籍しており、医療サービスや施設運営においても、他にはない強みになっていると感じます。

休日について

Q.1

仕事終わりや休みの日は
どのように過ごされていますか？

Answer

体を動かすことと食べるのが好きなので、ジムへ行ったり、美味しいお店を開拓したりしてます。仕事の時間とプライベートを分けて、しっかりリフレッシュすることができます。

Q.2

休日は休めていますか？

Answer

持ち帰りの残業は無いので、ON / OFF をしっかり切り替えて休むことができます！アクアホームはワークライフバランス良く働くことができるので、日々充実しています！

Q.3

仕事とプライベートの両立はできますか？

Answer

家に持ち帰る仕事はなく職場で完結するため、プライベートを十二分に楽しめます。私はキャンプ、海、BBQ、旅行など友人、家族とプライベートを充実させることができます。

Answer

アクアホームは4勤2休ベースの勤務であり、休みの日には趣味のキャンプや家族との時間を過ごしています。また残業もほとんどなく、仕事終わりにジムやサウナなど行くこともでき、仕事とプライベートの両立ができ充実した生活を過ごしています。

Q.1 アクアホームへの入職を検討されている方へ

Answer

私は利用者様・ご家族様が困った時に、アクアホームと繋がる架け橋となる存在でありたいと思っています。重篤な疾患を抱えていらっしゃる方も多く、入所を検討される利用者様やご家族様は不安でいっぱいです。他にもたくさんの施設があり、どこがいいのだろう、ここで良いのだろうかという不安を抱えていらっしゃいます。ご相談を受けてから、入所までのサポートを行うまでに、利用者様がどう生活したいのか、大切な時間をどう生きたいのかという思いを尊重し、ご家族様の考えも聞きながら、調整していきます。私たちの仕事は、親身に寄り添い、一つひとつ不安を取り除いていくことが大切だと思っています。その先には必ず、利用者様、ご家族様、私たちにも笑顔が待っています。最後になりますが、アクアホームは活気溢れる方が多い職場です。自ら考え行動したり、働いたりすることを応援してくれる環境に、魅力を感じる方にはとてもおすすめの職場です！一緒に働ける日を楽しみにお待ちしております。

Q.2 これからの老人ホームのケアについての展望を教えてください。

Answer

今後多くの団塊の世代の方たちが高齢者となる反面、それを支える労働人口は減少傾向にあります。従来のやり方では、人的要因から必然的にケアの質が落ちることが予測されます。そのため外部サービスを取り入れ、専門分野に特化する必要はありますが、訪問看護ステーションの3割以上は赤字といわれています。厚労省の調査では、特に小規模事業所の赤字が顕著と記されていますが、新規事業所の数は増加しています。赤字から事業の存続が困難となり、サービスを受けられない方が増えていくかもしれません。よって母体の大きなサービス事業者が運営していくことが、人員の確保や地域における信頼性から連携のしやすさに繋がり質の高いケアサービスを提供していくと考えています。

Q.3 最後にプロフェッショナルとは？

Answer

自分がなにをすべきか自分で考えられる人。自分がしたいことだけでなく周囲に対して良い影響を与えられることが大事だと思います。一人の力だと手の届く範囲でしか仕事はできません。私たちの仕事で考えると、数人の利用者様を笑顔させるのが限界です。一人一人の意識を高め、より多くの方に笑顔になってもらうために、私はアクアグループで頑張っています。人のために自分はどれだけ動けるか、その行動が報われる会社だと思います。お互いに刺激しあって一緒にいい未来を作りませんか？